

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 178 号	氏名	宮本 葵
学位審査委員	主 査	黒田 直敬	
	副 査	中島 憲一郎	
	副 査	甲斐 雅亮	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、分析操作の簡易化、自動化が容易なシーケンシャルインジェクション分析法に着目し、これとルミノール化学発光を組み合わせることで、物質の有する活性酸素（ROS）消去能をROSの種類別に測定可能な分析法の開発を目指したものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>申請者は、5種類のROSに対する個別消去能測定法及び複数のROS消去能の連続測定法を開発し、その基本性能を分析化学的な観点から詳細に評価した。さらに、これらの方法を市販サプリメントやマウス血清試料の有するROS消去能測定に適用し、実用性や応用性の検証も行っており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法による検討の結果、開発したROS消去能測定法が物質の抗酸化能の評価や抗酸化物質の迅速なスクリーニング手段として有用であることを明らかにした。さらに、ここで開発した方法の臨床化学分野への応用の可能性を示したことは、高く評価できる。</p>			
<p>以上のように、本論文は分析化学研究の進展に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			